



学 会 通 信

第 73 号

2015 年 7 月 3 日発行

目次

ICoME2015 のご案内【最終報】	2
第 22 回年次大会のご案内【第 2 報】	3
企画委員会からのお知らせ	5
編集委員会からのお知らせ	6
2015 年度第 1 回研究会の報告	7
第 7 期 第 16 回理事会（臨時）議事録	8
学会費納入のお願い	8

ICoME2015のご案内【最終報】

研究委員会 国際研究会担当 委員長 影戸 誠

今年度は中国・東北師範大学で開催されます。JAEMS と現地実行委員会と連携をとりながら進めており、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

研究者、大学院生、学部生は7月15日のフルペーパー提出に向けて最後の追い込みをかけています。隣国韓国と毎週 Skype で連絡を取りながら執筆活動を続けているゼミなどもあり、国際連携をベースにした日常的な協働学習も進んでいます。アジアにおける英語活用、SNS などを使った連携調査の舞台ともなりつつあります。

フルペーパーの投稿は <http://jaems.jp/icomel/> よりお願いします。

- ・ **テーマ** : デジタル環境におけるインテリジェントラーニング
- ・ **現地実行委員会 Web ページ** : http://icomel2015.nenu.edu.cn/webs/show.asp?M_id=47
- ・ **スケジュール** 2015年8月17日(月)～20日(木)

・ **リサーチエリア**

- Building and sharing digital education resources on the Internet
- Collaborative learning/training
- Curriculum design and development for open/distance education
- e-learning pedagogical strategies
- Innovative software and hardware systems for education and training
- Information technology and higher-order thinking
- Learning management information systems
- Innovation in teaching and learning with intelligent environment

・ **特徴** 研究者、院生、学部生の交流

英語での発表 : コンカレント 大学院生、学部生の発表と交流会 (RoundTable)

日中韓の交流会 共同研究協議 英語ジャーナルの発行 (ISSN 1882-2290)

・ **エントリー費**

日本からの参加者は、日本教育メディア学会事務局にエントリー費をお支払い下さい。

次回、日本で ICoME2016 (京都外国語大学) が開催される際の運営費として使われます。

・ 正会員 : 5,000 円 ・ 非会員 : 7,000 円 ・ 学生会員 : 3,000 円

- ・ **推薦ホテル** 東師会館 三星ホテル 住所: 1596 Ziyou Rd, Nanguan, Changchun, Jilin, 中国
電話:+86 431 8526 0618 (東北師範大学前)

第 22 回年次大会のご案内【第 2 報】

大会実行委員長 柴山英樹（日本大学）

I 開催期日・場所等

- ・開催期日：2015 年 10 月 17 日（土）～18 日（日）
- ・開催場所：日本大学文理学部 〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40
- ・年次大会サイト <http://jaems.jp/conference/>

II 大会日程（予定）

○10月17日（土）

時 間	内 容
11：30～	受 付
12：30～15：00	一般研究発表（1 件あたり 20 分発表 10 分質疑）
15：20～16：20	総 会
16：30～17：45	基調講演「AI・人工知能とこれからの教育」（仮題） ・新井紀子先生（国立情報学研究所 教授）
18：00～20：00	懇親会（日本大学文理学部内食堂にて）

○10月18日（日）

時 間	内 容
9：00～	受 付
9：30～11：30	課題研究発表 課題研究Ⅰ「タブレット端末環境と実践・評価・運用」 コーディネータ：中川一史（放送大学） 課題研究Ⅱ「OER / MOOCs のデザイン、開発、実践、評価」 コーディネータ：Insung JUNG（国際基督教大学） ・佐々木輝美（国際基督教大学） 課題研究Ⅲ「情報活用能力の育成と評価」 コーディネータ：後藤康志（新潟大学） 課題研究Ⅳ「メディアとしての教材」 コーディネータ：朝倉徹（東海大学）
11：30～12：30	昼 食
12：30～15：00	一般研究発表（1 件あたり 20 分発表 10 分質疑）
15：20～17：20	シンポジウム「教育とメディアの理論研究展望」 ・登壇者：小柳和喜雄（奈良教育大学）、朝倉徹（東海大学）、中橋雄（武蔵大学） ・コーディネータ：小笠原喜康（日本大学）

Ⅲ 参加申し込み

- ・ 事前申し込み期間は 2015 年 9 月 22 日（火）までとなっております。
- ・ 申し込み用紙を年次大会サイトよりダウンロードして、メール添付にてお送りください。
- ・ 送付先 jaems2015@oggo.jp

Ⅳ 発表申し込み

(1) 発表者の要件

- ・ 発表者は会員であることが必須です。
- ・ 会員でない方は、発表申込時点までに本学会への入会手続きを済ませてください。
- ・ 発表できる件数は、課題研究 1 件、一般研究 1 件、計 2 件までとします。

(2) 一般研究発表

- ・ 発表申し込みは、2015 年 8 月 18 日（火）～9 月 22 日（火）まで受け付けます。
- ・ 提出先：jaems2015@oggo.jp
- ・ 期限までに提出された原稿の受領をもって発表申し込みとさせていただきます。

(3) 課題研究発表

- ・ 課題研究プロポーザル（要旨）の申し込み期間は 7 月 20 日（月）までとなっています。
- ・ 大会 Web サイトにて記載事項を確認の上、提出してください。
- ・ 提出先：jaems2015@oggo.jp

(4) 発表原稿

- ・ テンプレートファイルを年次大会サイトからダウンロードして作成してください。
- ・ 一般研究の発表原稿は 2 ページです。
- ・ 課題研究の発表原稿は 2 ページまたは 4 ページです。

Ⅴ 年次大会参加費等

		事前支払いの場合	当日支払いの場合
参 加 費	会 員	3,000 円	4,000 円
	学生会員	1,000 円	2,000 円
	非 会 員	4,000 円 ※現職教員の場合 無料	5,000 円 ※現職教員の場合 無料
	学生非会員	2,000 円	3,000 円
印刷物	・ 本大会では、発表予稿集は刊行せず、会員の皆様に PDF ファイルの形での配布となります。事前にメールにてダウンロード先の URL を送ります。 ・ 紙媒体（PDF をプリントアウトした簡易なもの）が必要な方は、1 部 1000 円で販売しますので、事前の申し込みをお願いします。なお、事前に申し込みがない場合、印刷物を受領できない可能性が高い点をご了承願います。		
懇親会	5,000 円（学生 3,000 円） ・ 懇親会会場の準備の都合上、事前の参加申し込みと入金をお願いします。		

※本大会においては、非会員の現職教員の場合、参加を無料と致します。できるだけ多くの参加者にご参集いただき、学会の認知や入会を促すと意図がありますので、ご了承願います。

VI 年次大会事務局について

年次大会に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

○年次大会事務局

日本大学文理学部 教育学科研究室

電話：03-5317-9714 メールアドレス jaems2015@oggo.jp

企画委員会からのお知らせ

企画委員長：中川一史、担当：佐藤幸江、前田康裕

企画委員会企画ワークショップについて

■テーマ「ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー」

世界中のあらゆる情報が、いつでもどこでも手に入り、誰もが発信者となり、誰とでも交流することができる社会になりました。その反面、様々な課題も出てきています。本ワークショップにおいては、「ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシーとは」という問いをもとに、今後の研究課題や教育への展開について議論したいと考えています。

■ 日時 2015年9月5日（土）13:30～17:00（終了後懇親会）

■ 場所 東京ユビキタス協創広場CANVAS（東京都中央区新川2-4-7）

<http://www.uchida.co.jp/company/showroom/canvas.html>

1. 趣旨説明（中川一史）
2. 講演1 中橋雄氏：武蔵大学
講演2 宇治橋祐之氏：NHK放送文化研究所
講演3 鈴木謙介氏：関西学院大学
3. グループディスカッション
「検討：ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー」
4. パネルディスカッション
「再考：ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー」
司会：佐藤幸江氏
パネリスト：中橋 雄氏、宇治橋祐之氏、鈴木謙介氏
5. まとめ（前田康裕氏）

参加を希望される方は、件名を「教育メディア学会ワークショップ参加」として、「名前」「所属」「懇親会参加の有無」を本文に記載の上、8月31日までにhitorin@hitorin.com宛にメールをお送りください。

編集委員会からのお知らせ

編集委員会委員長 久保田 賢一

■特集号「教員養成・現職研修におけるメディア活用」(Vol.22, No.2) 募集のお知らせ

日本教育メディア学会では、22号2巻で「教員養成・現職研修におけるメディア活用(予定)」の特集論文を組みます。

また、特集号においても、一般論文を受け付けていますのでふるって投稿をお願いします。

締切：2015年7月30日

■教育メディア研究 (Vol.23, No.1) 投稿論文募集

締切：2016年1月30日

2015年度第1回研究会のご報告

2015年度第1回研究会が、東北学院大学泉キャンパスにある教育工学実習室にて2015年6月13日(土)に開催されました。教育メディア学会会員および宮城県の研究グループである「情報活用型授業を深める会」の会員、その他の大学教員や現職教員、学生の合計35名が参加し、10件の研究発表が行われました。

今回の研究会のテーマは「情報活用能力の育成とメディア」でした。このテーマを設定したのは、文部科学省が実施した「情報活用能力調査」の結果が公表され、情報活用能力の育成における実態が明らかになってきたことが背景にあります。また、本学会では年次大会において情報活用能力及びメディアリテラシーに関する研究討議の蓄積があり、そこでの発表を発展させた報告もありました。

10件のうち、前半5件が開催テーマとの関連性の高い報告でした。「アクション・リサーチによるMCカリキュラムの改善」では、京都教育大学附属桃山小学校が研究開発学校として実践してきた「メディア・コミュニケーション科」におけるカリキュラムの開発プロセスとそこでの課題解決の状況の分析に関する報告がありました。「児童・生徒の情報活用に着目した授業の開発」では、「情報活用型授業を深める会」に所属する仙台市教育センター指導主事より、情報活用の実践力の育成に着目した授業開発の取り組みが報告されました。「ユネスコ・メディア情報リテラシー教育－日本における政策と実践の可能性－」では、国際的なメディア・情報リテラシー教育の動向とともに、日本でのESD教育における実践可能性が提案されました。「メディア接触がメディア認知に及ぼす影響」では、大学生を対象にメディア利用とその認知に関する調査結果が報告されました。その結果、日常のメディア接触がメディアの特性理解に及



ばす影響が示唆されました。「ラーニングコモンズにおける学修モデルの開発」では、大学における学生の主体的な学修を支援する環境であるラーニングコモンズを対象に、そこで実施される学修を情報の収集と発信の両面からモデル化した試みが報告されました。

後半の 5 件は、ICT やメディアの活用に関する様々な研究成果が報告されました。「児童 1 人 1 台タブレット端末環境における授業実践や家庭学習による保護者への意識調査」では、1 人 1 台のタブレットを導入して児童に家庭への持ち帰りを許可した授業実践における、保護者のタブレット端末に対する捉え方に関する調査結果が報告されました。「学びの自律を支援する自主学习共有システムの評価」では、小学生の家庭学習の状況を共有することで自主学习を促す、タブレットを活用したシステムの運用や操作面の評価についての報告がありました。「映像を活用した学習指導法の協議環境試案と論点整理－注目場面のずれを題材にして－」では、授業の動画（番組）を活用して、現職教員や教職経験の無い学生が、授業内で注目する場面の差をもとに議論を行う授業研究の手法が紹介されました。「SQS による出席票とアンケート調査を両立させるワークフローの提案」では、マークシートの作成読み取りシステムの SQS を用いて出席とアンケートを効率的にとるための仕組みが提案されました。「e ラーニングによる入学前教育の実践」は、入学前教育において学習計画を立てさせ、進捗報告を相互評価で行う e ラーニングの取り組みが報告されました。

全体を通して、テーマであったメディア・リテラシーや情報活用能力、さらには自己調整学習など、主体的で自律的な学習者となるために必要な能力やそれを促す学習環境について、多様な視点からの発表が多かったように思います。質疑応答でも活発な議論がなされ、それぞれの発表が深まりをみせ、とても充実した時間となりました。本研究会にご参加いただきました皆様にあらためてお礼を申し上げます。

文責：稲垣忠（東北学院大学）・市川尚（岩手県立大学）

第 7 期 第 16 回理事会（臨時）議事録

1.日時 2015 年 5 月 27 日～6 月 14 日

2.場所 会則第 24 条に基づく電子メールによる会議

3.出席者 会長、理事 19 名（25 名中）

4.協議事項

※会議に先立ち、会長より会則第 24 条に基づく電子メールでの会議開催に関する手続きの説明があった。理事は、各議案を承認することについての可否を期日内に返信することとした。

審議事項

（1）年次大会参加費について

年次大会委員長から、年次大会の参加者を増やすために、大会論文集をデジタル化して印刷製本のコストを削減することで、従来よりも年次大会参加費を引き下げてよいか提案がなされ、審議の結果承認された。

以上

日本教育メディア学会 事務局長（第 7 期）

中橋 雄（武蔵大学）

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2015 年度（2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日）の年会費（正会員 7,000 円、学生会員 4,000 円）が未納の方は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨソイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座から ATM を使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。大学事務局を通じた大学名による振り込みは、どなたの会費か判断できないため避けていただくようお願いいたします。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます）。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、事務局までメールアドレス、お届け先住所の情報をお送りくださるよう、よろしくお願いいたします。

【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員（6名）・・・小川 隆夫、宇佐美 亘、渡辺 哲男、近藤 睦、荒木 貴之、納庄 聡

新入会員・学生会員（3名）・・・菊池 尚代、中村 康則、李 哲

退会者・正会員（1名）・・・延原 みかこ

種別変更（学生会員→正会員）（2名）・・・吉田 誠也、芝田 成輝

種別変更（正会員→学生会員）（1名）・・・佐藤 和紀

会員総数 383名・16団体

<p>日本教育メディア学会 事務局 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1 武蔵大学社会学部 中橋雄研究室内 電話：03-5984-4792 E-mail：office@jaems.jp 学会ホームページ URL：http://jaems.jp/</p>	<p>広報委員会 委員長 小柳和喜雄（奈良教育大学） 副委員長 永田智子（兵庫教育大学） 副委員長 村上正行（京都外国語大学）</p>
---	--